

# 経済・文化交流 促進、発展を



インドとの文化・経済交流促進を目指し、宍道湖・中海・大山圏域の経済界が中心となって呼び掛けた「山陰インド協会」(仮称)が14日、インドのデリー・ゴパラン・ワドワ駐日大使を迎え正式に発足する。人口約12億人のインドは経済発展が続き、日本からの企業進出や経済的取引が増えている。昨年、日印国交樹立60周年を迎え、天皇陛下が初のインド訪問の計画が公表され、先月末にはインドのシン首相が日本を訪れて安倍晋三首相と会談。原発や新幹線のインド輸出交渉が加速したのをはじめ経済・安全保障面での連携強化が打ち出された。山陰インド協会のスタートは、こうした日印関係の流れに乗り、地方から経済・文化交流の促進、発展を目指すもので、成果が期待されている。

設立総会は、14日午後3時から松江市千鳥町のホテル一畑で開催。会員を中心に約120人が出席し、規約、役員体制、インド経済視察や会員向けの情報提供サービスなどの事業計画を決める。総会終了後は、元駐印大使で日印協会の平林博理事長が記念講演を行い、ワドワ大使を招いた記念祝賀会がある。祝賀会では、日印双方の伝統舞踊を披露する予定で、山陰の地での新たな日印交流の門出を祝う。

協会には現在、法人を中心に150を超す会員が集まっている。宍道湖・中海・大山圏域で呼び掛けしてきたが、倉吉市や大田、益田市、福岡県からの参加企業もあり、インドでのビジネス展開や交易の可能性を探ろうと、関心が高い。中にはインドから食

## 山陰インド協会きょう発足

特別寄稿

設立に寄せて

2013年1月、初めて島根・鳥取両県を訪問した私は、山陰の皆さまがインドに対して抱く温かな気持ちと友情をじかに感じる事ができました。また山陰地方とインドの深い縁を知り、驚きを覚えました。中村元記念館を初めて訪問した際には感銘を受け、「日印関係の中心は、日本のこの素晴らしい地方にある」と述べました。このような経緯からも、山陰インド協会の設立が決まったとお聞きした時は大変うれしく感じましたし、また設立記念式典にご招待いただき、深く感謝しております。

日印両国の国民は、先月末に行わ

商を媒介に続いてきました。こうしてインドの木綿は長崎経由で日本の沿岸地域に届き、また貿易商はインドに日本の絹や硬貨製造用の銅を運んだのです。19世紀半ばになると、日印間の交流についてさらに詳しい歴史の記録が残されるようになります。インドは20世紀初頭以来、歴史を通じて日本に対しポジティブなイメージを抱いてきました。インド人は日本の大国としての台頭を、アジア復活の始まりと解釈したからです。インドは1952年に日本と外交関係樹立しましたが、日本は最も初期に外交を始めた国のひとつです。

大変喜ばしく感じております。仏教は古代インドからこの山陰地方に渡ってきました。昨年私たちは松江市の中村元記念館の設立とともに中村元先生の生誕100周年記念をお祝いしましたが、山陰は中村先生にもゆかりが深い土地です。山陰インド協会は、古代から続く精神的な絆と現代における経済関係という二本の柱に基づいています。また最も重要な点として、同協会は日印両国の国民をつなぐ架け橋になるでしょう。



Devi Paragopalan, Indian Ambassador to Japan

デーパ・ゴパラン・ワドワ駐日インド大使

## 両国民つなぐ架け橋に

れたマンモハン・シン首相と安倍晋三首相の首脳会談が大成功であったことを認識しています。日印年次首脳会談は、2006年にシン首相と安倍首相により宣言された日印戦略的グローバルパートナーシップを機に始まりました。シン首相が今回の首脳会談で、「インドと日本は自然な、お互いにとって不可欠なパートナーである」とおっしゃいました。東洋文化と宗教によって結ばれた両国の絆は、古代から続いてきました。日本人の意識にはインドに関する知識が深く刻まれています。仏教と、奈良の東大寺大仏の開眼式を行った菩提伽耶をはじめとする伝道僧の到来後、日印間の交流は完全に間断なくというわけではなくとも歴史を通じて、商業の台頭に伴い、西洋の貿易

私がこれまでお会いした日本の方々は多くは、東京裁判でラダ・ビノード・パール判事が日本に関して下した判決と、ジャワハルラル・ネルー首相と娘のインディラの1957年の来日を記憶しています。今日台頭しつつあるインドの活発な経済、拡張しつつある若年人口、低い製造費、巨大な市場は日本の技術力、製造力や財源と補完関係にあります。インドは新たな投資先や市場を求める日本企業にとって、素晴らしい機会を提供しています。このような背景のもとでの山陰インド協会の設立は、大変適切かつ時期にかなったものであります。

技術、食品加工業とのタイアップを必要としています。これらの部門はインドが持つ力とニーズと完璧な補完性を持っています。」

中村元記念館審議会の古瀬誠会長、山陰中央新報社の山根常正会長、中海・宍道湖・大山圏域の商工会議所の会頭の皆さま、そして溝口善兵衛島根県知事閣下、平井伸治鳥取県知事閣下がささげてくださいるインドへの友情に対し、心より感謝申し上げます。

山陰インド協会が創立者の期待通りに発展し、また日印両国間の友情の絆と経済関係を深めるという目的を達成できるように、インド大使館も大いに支援させていただくことをお約束申し上げます。

### アラカルト

<カレー> インドといえばカレー。肉、魚介類や野菜に数種類の香辛料を使って味付けし、主に煮込んだ料理。

## 日本企業の対印ビジネス本格化

抱え、19日、降、外、主、本、の、調、進、12、社、05、年、は、企、業、の、本、格、化、を、目、的、と、し、て、対、印、ビ、ジ、ネ、ス、に、本、格、化、を、推、し、進、め、て、い、ら、せ、る、と、い、う、こ、と、を、お、話、し、て、い、ら、せ、た。